

② 地域医療の充実

病院事業の経営状況は、依然として厳しい状況にあります。病床数のダウンサイジングや病床機能分担などの、限られた医療資源の効果的な活用に向けたこれまでの取り組みにより、取支改善の兆しが見え始めております。休止している登米・津山・よねやま診療所は、地域医療の確保を図るため、民間活力の導入などに取り組みとともに、病院事業全体の望ましい経営形態のあり方について検討を進めてまいります。

令和2年1月に、市立3病院が国における地域医療構想の実現に向けた重点支援区域の医療機能再編等対象医療機関として、指定されたところであり、市立3病院で一般急性期から回復期・慢性期まで対応する体制の構築や、市内開業医との連携による紹介患者受入体制の強化に取り組んでまいります。

また、高度急性期医療は、石巻赤十字病院や大崎市民病院などの三次医療機関との連携をさらに進めるなど、県の地域医療構想に沿った取り組みを進め、切れ目のない医療提供体制を確保してまいります。

医師確保の取り組みは、登米市民病院が本年2月に基幹型臨床研修病院の指定を受け、令和4年度から初期研修医の受け入れが可能となったところでもあります。東北大学や東北

医科大学と連携を深め、研修医受け入れに向けた指導医の育成確保に努めるとともに、研修医に研修先として選ばれ、地域に定着していただけるような取り組みや要請活動を行うなど、医師確保に向けて取り組んでまいります。

市民の皆さまが安心して地域医療を受けられるように、専門性の高い診療看護師の効果的な活用と育成強化により、地域の実情に合った医療・介護・福祉の連携を強化するなど、地域医療と在宅医療が効果的に機能するシステムの構築に取り組んでまいります。

登米市民病院は、災害拠点病院として指定されおり、地域の中核的病院としての機能充実はもとより、職員が働きやすい環境整備、市民の皆さまの安全・安心を担う、病院施設の整備に向けて検討を進めていく考えであります。

③ 教育振興

学校再編は、登米市立小中学校等再編構想に基づき、津山、東和、米山および南方地域の小学校再編による統合校の開校を目指すとともに、地域との合意形成を図りながら、中学校の適正な規模および配置による再編に着手してまいります。

ICT教育は、GIGAスクール構想に伴い整備したタブレット端末を効果的に活用するため、教職員の企業誘致の取り組みは、私自らトップセールスに向き、長沼第二工業団地と登米インター工業団地への早期立地に向けた誘致活動を加速してまいります。

観光振興は、NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」の舞台地であることを最大限に生かし、本市への観光客の増加に向けて、取り組んでまいります。

⑥ 健康なまちづくり

地区組織や関係機関などとの連携により、地域で活動をしている皆さまの力を生かした健康づくりを推進するとともに、森林セラピーなど、市内の資源も活用しながら、健康寿命の延伸を図ってまいります。

また、本市では脳血管疾患による死亡率が高いことや、生活習慣病につながるリスクが大きいとされる、子どもの肥満が多いことが課題となっており、ナトリウム、カリウムの摂取バランスに着目した食習慣の改善を進めるとともに、学校やPTAなどと連携し、健全な食生活や生活習慣の定着に向けた取り組みを継続していく考えであります。

母子に対しては、心身のケアや育児のサポートをするための産後ケア事業を開始し、安心して子育てができる支援体制の確保に取り組んでおり、妊娠・出産・子育てに関する相談体制の充実を図り、安心して産み育

指導力の向上を図るとともに、オンラインを活用した授業づくりを進めてまいります。

郷土学習は、コミュニティ・スクールの推進を通して、世代間の交流や、郷土に対する理解と関心を深める体験活動などの充実により、郷土愛の育成に取り組む考えであります。

なお、生涯を通じた学びや集いの拠点として、新たな図書館の設置に向けた検討を進め、具現化を図ってまいります。

東京2020オリンピック・パラリンピックにおいては、ポーランドボートチームが持てる力を十分に発揮し活躍できるよう、事前合宿の受け入れを支援し、市民の皆さまのスポーツ活動と共生社会の推進を図ってまいります。

④ 人口減少対策

都市部から地方への移住気運の盛り上がりや、これまでの市の取り組みの成果などを踏まえ、市営住宅建替事業後の跡地を活用した、子育て・新婚世帯向け住宅の整備に着手し、若者の移住・定住につながる環境整備を推進してまいります。

NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」の放送が開始され、本市の魅力が全国に向けて紹介される絶好の機会と捉え、シティブロモーションを展開し、イメージアップや知名度向上に取り組む、移住・定住につなげていくことができない環境づくりに努めてまいります。

福祉施策は、乳幼児から高齢者まで、健康に対するきめ細やかな啓発を行いながら、生きがいを実感できる施策を展開してまいります。

また、新たな福祉ニーズに対応していくため、多様な主体が協働して課題解決に取り組む、「つながる」地域福祉を意識した活動を促進していく考えであります。

高齢者福祉は、高齢者の自立支援や介護予防の取り組みを継続して実施するとともに、介護状態となった際には、必要に応じたサービスを提供することにより、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、地域包括ケアシステムの推進を図ってまいります。

⑦ 効率的な行財政運営

市政運営の根幹となる財政を健全化していくことが優先課題であると捉えており、新たな行政課題に的確かつ迅速に対応していくため、行財政改革を推進し、次世代に大きな負担を残すことのないよう、健全な財政基盤の確立と効率的な行財政運営を遂行していく考えであります。

公共施設などは、更新・統廃合などを計画的に行い、最適な配置に向けた取り組みを進めてまいります。

ふるさと応援寄附金は、魅力的な返礼品の充実を図るほか、おかえり

まいります。

子育て支援は、支援センター事業のさらなる充実を図るとともに、一時保育事業の実施など、多様なニーズに対応した子育てサービスの提供に努めてまいります。

結婚支援の取り組みは、同じ課題を持つ栗原市や岩手県一関市、平泉町などと連携し、広域的な結婚支援を推進してきたところでもあり、今後も取り組みを継続していく考えであります。

また、新婚世帯の新生活のスタートに伴う経済的負担の軽減を図るため、本年度から新たに結婚新生活支援事業に取り組む、新生活を支援してまいります。

女性の活動に対する支援は、市民一人一人の多様な生き方を尊重し、男女共同参画社会の実現に向け、女性起業家への支援などに取り組む考えであります。

また、「生理の貧困」が全国的に問題となっていることを踏まえ、こうした悩みを抱える女性を支援し、声なき声にこたえてまいります。

人口減少対策に加え、少子高齢化が進む本市にあつては、空洞化やスポンジ化により活力が失われつつある中心市街地の活性化と併せ、地域拠点の振興は必須であると捉えており、国から示される防災指針の改定を踏まえ、立地適正化計画の策定作業を進め、人口減少と少子高齢化社会に対応する持続可能なまちづくりに向けて取り組んでまいります。

モネの舞台地として積極的に情報を発信し、本市を継続的に応援していただけるリピーターを確保するとともに、新たに本市を応援したいと感じていただける人が一人でも増えるよう、取り組みを進めてまいります。

公民連携の取り組みは、多様な複雑化する住民ニーズにしっかりと応えていくためには、行政だけではなく、民間事業者などの力を活用していくことも重要であると捉えております。

既存の取り組みにとらわれることなく、地域課題の解決に向けて大きな視点に立ち、民間のノウハウを生かした公民連携の取り組みを推進していく考えであります。

結び

節目となる20年に向けて、財政基盤の強化を図りながら、次世代に大きな負担を残すことなく、今やるべきことをやらずして後悔することのないよう、施策を着実に進めていく所存であります。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中ではありますが、市民の皆さまをはじめ、議会のご協力をいただきながら、職員と心を一つにしてこの難局を乗り越え、「未来へつなぐまちづくり」を進めていく所存であります。



市ホームページ
は全文掲載
は全文掲載
は全文掲載